

下志津駐屯地記念行事研修

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井 陸尉）は、4月20日（土）、千葉県に所在する陸上自衛隊下志津駐屯地「創設六十九周年記念行事」において、募集対象者及び協力者4名に、自衛隊に対するイメージの向上及び組織的募集態勢の強化を目的とし、広報活動を実施した。

参加者は、記念式典・観閲行進に引き続き、高射学校が保有する対空兵器すべての器材と空挺部隊の実戦さながらの対空戦闘訓練展示を見学し、その迫力にすっかり魅了されていた様子であった。また、ステージで、高射学校音楽隊による演奏、さらに乗車体験及び装備品展示などが行われ、装備品に模したキャラクターたちがそれぞれの装備品を説明するなどし、記念式典や対空戦闘展示の緊張感とは違う、和やかなムードが参加者を包み込んでいた。参加者の中には、「自衛官を目指したい」と興味を示す学生もあり、広報活動の手ごたえを感じた。

大田原地域事務所は、「今後も、学校関係者や保護者等も含め参加できるイベントを企画し、募集に繋がる広報活動を実施して行きたい」としている。



下志津駐屯地記念行事の様子



乗車体験を楽しむ参加者①



乗車体験を楽しむ参加者②



装備品の前で記念撮影



記念撮影をする参加者

佐野駅市街地広報

～朝の駅利用者へ自衛隊をPR～

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 本村 一 空尉）は4月22日（月）、JR佐野駅にて佐野市自衛隊家族会及び自衛官募集相談員連絡会足利支部とともに、自衛隊広報に関するポケットティッシュの配布を実施した。当日は小雨の影響で少し肌寒さを感じつつも、風の少ない非常に気持ちの良い天候となった。また、駅の利用者の学生が元氣よく挨拶をする場面が見られ、気持ちのいい朝を迎えられた。

陸海空それぞれの制服を着て、約1,200名の市民に配布を行い、「なぜ駅に自衛隊がいるのですか？」と疑問を持つ学生や、「かっこいいですね！」と声をかけてくれる人で賑わいをみせ、多くの方に自衛隊に興味を持ってもらい、アピールすることができた。

足利地域事務所は「今後も、協力4団体と連携し地域の方々に、自衛隊の魅力を発信していく」としている。



市街地広報の様子（佐野駅）